

財政運営適正化計画（抄）（令和4年9月30日現在）

調査票1・・・財政運営適正化計画（数値）

調査票2・・・財政運営適正化計画の概要（考え方等）

調査票3・・・歳入（見込）額 調

調査票4・・・歳出（見込）額 調

調査票5・・・実質公債費比率（見込）調

調査票6・・・将来負担比率（見込）調

1 財政運営適正化計画

調査表 1

財政状況の推移 (単位:千円、%)																			
年度	歳入	歳出	(実質収支 比率) 実質収支	標準財政規 模 A	実質公債費比率		将来 負担 比率	起債 制限 比率	経常収支比率		財政力 指数 3年平均	地方債 現在高 B	翌年度以降 債務負担行 為支出予定 額一般財源 C	B/A	B+C A	基金現在高			
					単年度	3年平均			うち 人件費	うち 公債費						うち 減債	うち 財政調整		
R1	9,540,070	8,639,100	(18.5) 900,970	4,876,464	9.3	8.9	△ 30.6	3.9	88.7%	15.2%	15.0%	0.365	11,101,034	212,382	2.3	2.3	7,854,083	1,233,537	3,223,713
R2	11,422,177	11,020,665	(7.6) 401,512	5,286,224	8.8	9.0	△ 67.5	3.4	87.0%	22.4%	15.8%	0.358	10,194,077	421,548	1.9	2.0	8,014,779	1,220,889	3,419,949
R3	10,113,331	9,669,415	(7.8) 443,916	5,684,687	9.3	9.1	△ 70.4	2.8	82.9%	21.4%	15.4%	0.341	10,047,533	328,830	1.8	1.8	8,401,821	1,233,567	3,614,533
R4	9,606,426	9,358,697	(4.4) 247,729	5,584,266	8.7	8.9	△ 89.2	2.2	87.4%	23.6%	16.3%	0.329	9,444,594	286,534	1.7	1.7	8,537,666	1,207,597	3,752,449
R5	9,433,836	8,993,095	(7.9) 440,741	5,601,878	8.7	8.9	△ 113.0	1.9	87.6%	23.3%	16.6%	0.317	8,883,799	218,346	1.6	1.6	8,407,143	1,099,937	3,946,469
R6	9,196,578	8,827,961	(6.6) 368,617	5,625,887	7.9	8.5	△ 139.7	1.4	89.7%	23.8%	16.4%	0.322	8,145,545	151,145	1.4	1.5	8,301,047	1,044,604	4,099,041
R7	8,844,564	8,480,835	(6.5) 363,729	5,611,342	6.1	7.6	△ 167.6	1.1	90.5%	23.9%	16.1%	0.324	7,179,366	111,624	1.3	1.3	8,110,147	918,222	4,249,833
R8	8,729,242	8,352,967	(6.8) 376,275	5,561,865	5.5	6.5	△ 193.5	0.7	91.4%	24.2%	15.3%	0.330	6,286,585	63,317	1.1	1.1	7,860,680	721,543	4,409,832
R9	8,652,899	8,327,568	(5.9) 325,331	5,483,266	3.8	5.1	△ 217.4	△ 0.6	91.9%	24.7%	13.5%	0.332	5,424,663	51,218	1.0	1.0	7,594,806	535,963	4,540,111

2 財政運営適正化計画の概要

行財政運営の簡素化及び効率化の基本方針																																																																																		
項目	現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																																																																
歳入確保対策	課税客体捕捉の徹底と徴収の強化 (地方税徴収率の向上)	定期的な現地確認調査による課税客体の適正把握。口座振替の推進。岡山県税整理組合、岡山県滞納整理推進機構への徴収委託、備中県民局からの徴収対策職員の派遣、笠岡市との徴収職員の併任などによる徴収強化。 R3徴収率97.9%(対前年度+0.1%、徴収努力による)	増収見込額 百万円																																																																															
	使用料・手数料等受益者負担の適正化	受益者負担については、事業実施の際などに分担金徴収条例に基づき適正に負担をお願いしている。	増収見込額 百万円																																																																															
	財産管理の適正化と財産運用収入の確保 (売却可能資産の処分)	資金計画を綿密に立てることにより、積極的な資金運用を行い、財産運用収入の増に努めている。また、令和4年10月からは一般会計基金を一括運用することにより、さらに効率的な資金運用を図る。	増収見込額 百万円																																																																															
	その他の歳入確保	各種補助金・助成金など、情報収集に努め、積極的な歳入確保を図っている。また、H22年度から過疎地域に指定されたことにより、過疎対策事業債を積極的に活用している。	増収見込額 百万円																																																																															
歳出抑制策	職員定数の見直し状況	平成17年度からの行財政改革及び課の統廃合により、定員管理目標は十分達成している。 今後は、高度化する行政ニーズへの対応のため、専門職の採用を積極的に取り組む。また、権限移譲等による業務増に合わせて、再任用職員を含め、優秀な人材確保に努める。 ※令和2年度からの会計年度任用職員制度導入により、フルタイム会計年度職員を計上しているため、職員数が大幅増となっている。	職員数の現況及び将来見通し (単位:人)																																																																															
	義務的経費の節減	人件費については、令和2年度以降、会計年度任用職員制度の開始により令和4年度にかけて大幅増となっているが、市町村の事務が年々増え続けていることから、適正な配置が必要となっている。 公債費については、交付税措置のある有利な起債以外は利用せず、公債費の抑制に努めているが、過疎対策事業債をはじめとした有利な起債の積極的な活用により町債残高が増加し続けていたため、令和2年度から計画的な過疎債の繰上償還(2億8千万円/年)を実施し、町債残高及び後年度の公債費削減を図っている。 扶助費については、検診受診率の引き上げや予防施策に力を入れることで抑制に努めているが、全体としては増加傾向にある。	人件費総額の抑制計画 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>850.8</td> <td>1,369.0</td> <td>1,405.7</td> <td>1,509.9</td> <td>1,514.4</td> <td>1,519.0</td> <td>1,523.5</td> <td>1,528.1</td> <td>1,532.7</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>518.2</td> <td>36.7</td> <td>104.2</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 公債費の抑制 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>784.9</td> <td>1,119.2</td> <td>1,192.1</td> <td>1,200.4</td> <td>1,237.9</td> <td>1,213.8</td> <td>1,194.3</td> <td>1,136.0</td> <td>1,021.0</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>334.3</td> <td>72.9</td> <td>8.3</td> <td>37.5</td> <td>△ 24.1</td> <td>△ 19.5</td> <td>△ 58.3</td> <td>△ 115.0</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> </tr> </tbody> </table> ・年間280百万円の計画的繰上償還(R2年度～) 過疎対策事業債について、利率見直し時に補償金免除繰上償還を行う。		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計画額	850.8	1,369.0	1,405.7	1,509.9	1,514.4	1,519.0	1,523.5	1,528.1	1,532.7	増減		518.2	36.7	104.2	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	うち行革分											R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計画額	784.9	1,119.2	1,192.1	1,200.4	1,237.9	1,213.8	1,194.3	1,136.0	1,021.0	増減		334.3	72.9	8.3	37.5	△ 24.1	△ 19.5	△ 58.3	△ 115.0	うち行革分				280.0	280.0	280.0	280.0	280.0
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																									
計画額	850.8	1,369.0	1,405.7	1,509.9	1,514.4	1,519.0	1,523.5	1,528.1	1,532.7																																																																									
増減		518.2	36.7	104.2	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6																																																																									
うち行革分																																																																																		
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																									
計画額	784.9	1,119.2	1,192.1	1,200.4	1,237.9	1,213.8	1,194.3	1,136.0	1,021.0																																																																									
増減		334.3	72.9	8.3	37.5	△ 24.1	△ 19.5	△ 58.3	△ 115.0																																																																									
うち行革分				280.0	280.0	280.0	280.0	280.0	280.0																																																																									

項目	現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																																																																
歳出抑制策	消費的経費の節減	<p>物件費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>1,276.0</td> <td>1,154.7</td> <td>1,307.8</td> <td>1,317.0</td> <td>1,326.2</td> <td>1,335.5</td> <td>1,344.9</td> <td>1,354.3</td> <td>1,363.7</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>△ 121.3</td> <td>153.1</td> <td>9.2</td> <td>9.2</td> <td>9.3</td> <td>9.4</td> <td>9.4</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>維持補修費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>77.4</td> <td>65.3</td> <td>70.6</td> <td>72.0</td> <td>73.4</td> <td>74.9</td> <td>76.4</td> <td>77.9</td> <td>79.5</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>△ 12.1</td> <td>5.3</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容 ・電力供給契約に係る入札方式導入による経費節減(R1～) ・空調や照明設備の省エネ化更新(H30～R2)</p>		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計画額	1,276.0	1,154.7	1,307.8	1,317.0	1,326.2	1,335.5	1,344.9	1,354.3	1,363.7	増減		△ 121.3	153.1	9.2	9.2	9.3	9.4	9.4	9.4	うち行革分											R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計画額	77.4	65.3	70.6	72.0	73.4	74.9	76.4	77.9	79.5	増減		△ 12.1	5.3	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6	うち行革分									
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																								
	計画額	1,276.0	1,154.7	1,307.8	1,317.0	1,326.2	1,335.5	1,344.9	1,354.3	1,363.7																																																																								
	増減		△ 121.3	153.1	9.2	9.2	9.3	9.4	9.4	9.4																																																																								
	うち行革分																																																																																	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																									
計画額	77.4	65.3	70.6	72.0	73.4	74.9	76.4	77.9	79.5																																																																									
増減		△ 12.1	5.3	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.6																																																																									
うち行革分																																																																																		
投資的経費の抑制 (地方債の発行抑制)	<p>以前から、地方交付税措置のある地方債以外は起債しないことで発行額の抑制を図ってきたが、H22年度に過疎地域に指定されたことに伴い、適債事業の積極的な掘り起こしにより地方債発行額が大幅に増加している。</p> <p>過疎対策事業については後年度の元利償還金の3割相当額を翌年度に減債基金に積み立てることで将来負担を抑えるように対策をしている。</p>	<p>地方債発行抑制 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>1,562.5</td> <td>994.4</td> <td>1,037.9</td> <td>591.1</td> <td>671.8</td> <td>471.1</td> <td>224.4</td> <td>160.6</td> <td>93.0</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>△ 568.1</td> <td>43.5</td> <td>△ 446.8</td> <td>80.7</td> <td>△ 200.7</td> <td>△ 246.7</td> <td>△ 63.8</td> <td>△ 67.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容 ・過疎債に係る普通交付税措置外分(3割)の減債基金への積立による後年度の公債費負担抑制 ・近年の過疎債を活用した積極的な事業実施により、令和元年度末には起債残高が100億円を越えたため、令和2年度に起債借入・償還のシミュレーションを作成し、令和10年度までに「起債残高が基金残高を下回るように」投資的経費と起債の発行を抑制していくこととしている。</p>		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計画額	1,562.5	994.4	1,037.9	591.1	671.8	471.1	224.4	160.6	93.0	増減		△ 568.1	43.5	△ 446.8	80.7	△ 200.7	△ 246.7	△ 63.8	△ 67.6																																																		
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																									
計画額	1,562.5	994.4	1,037.9	591.1	671.8	471.1	224.4	160.6	93.0																																																																									
増減		△ 568.1	43.5	△ 446.8	80.7	△ 200.7	△ 246.7	△ 63.8	△ 67.6																																																																									
繰出金の適正合理化 (基準外繰出の解消等)	<p>繰出金については、繰出基準による繰出を基本としている。下水道事業については、下水道への接続推進に努めているものの、整備や更新に膨大な費用が掛かることに対し、今後の人口減少見込や節水意識の向上に伴う使用料の減などもあって赤字額の解消には至っていない。</p> <p>病院事業についても、不採算地区に指定されるなど、赤字額の解消は困難な状況である。</p>	<p>基準外繰出の解消等 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>H5</th> <th>H6</th> <th>H7</th> <th>H8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>158.4</td> <td>226.7</td> <td>238.9</td> <td>233.5</td> <td>232.3</td> <td>224.6</td> <td>182.5</td> <td>171.6</td> <td>162.0</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>68.3</td> <td>12.2</td> <td>△ 5.4</td> <td>△ 1.2</td> <td>△ 7.7</td> <td>△ 42.1</td> <td>△ 10.8</td> <td>△ 9.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容 下水道事業が法適用したことにより繰出基準が変更となったため、基準外繰出金の額が大きな額となっているが、下水道も含めて公営企業への繰出金額については従来同様、交付税措置に見合った額の繰出のみ行うこととしている。</p>		R1	R2	R3	R4	H5	H6	H7	H8	R9	計画額	158.4	226.7	238.9	233.5	232.3	224.6	182.5	171.6	162.0	増減		68.3	12.2	△ 5.4	△ 1.2	△ 7.7	△ 42.1	△ 10.8	△ 9.6																																																		
	R1	R2	R3	R4	H5	H6	H7	H8	R9																																																																									
計画額	158.4	226.7	238.9	233.5	232.3	224.6	182.5	171.6	162.0																																																																									
増減		68.3	12.2	△ 5.4	△ 1.2	△ 7.7	△ 42.1	△ 10.8	△ 9.6																																																																									
事務事業の見直し状況	令和4年度にデジタル推進室を設置し、ICT技術を積極的に活用するために、事務の合理化・効率化を図っていくこととしている。	削減見込額 百万円																																																																																
その他の歳出合理化		削減見込額 百万円																																																																																
その他	政策評価の導入状況	なし																																																																																
	行政改革・財政状況に関する情報公開の状況	財政運営適正化計画(本計画)の公表(年1回)、財政事情の公表(年2回)、統一的な基準による財務書類の公表(年1回)等																																																																																

3 歳入(見込)額調

調査表3

(単位:千円,%)

区 分	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率
1 地方税	1,657,847	6.6%	1,604,957	△ 3.2%	1,574,113	△ 1.9%	1,610,114	2.3%	1,619,884	0.6%	1,588,264	△ 2.0%	1,597,792	0.6%	1,607,404	0.6%	1,576,485	△ 1.9%
市町村税	692,312	8.5%	626,245	△ 9.5%	636,223	1.6%	634,081	△ 0.3%	635,638	0.2%	637,198	0.2%	638,763	0.2%	640,332	0.2%	641,906	0.2%
固定資産税	821,141	5.8%	830,751	1.2%	775,906	△ 6.6%	821,614	5.9%	829,827	1.0%	796,647	△ 4.0%	804,610	1.0%	812,653	1.0%	780,160	△ 4.0%
その他	144,394	2.5%	147,961	2.5%	161,984	9.5%	154,419	△ 4.7%	154,419		154,419		154,419		154,419		154,419	
2 地方譲与税	82,794	2.6%	84,010	1.5%	85,198	1.4%	85,198		85,198		85,198		85,198		85,198		85,198	
3 交付金	273,139	△ 8.7%	332,787	21.8%	372,923	12.1%	372,853	△ 0.0%	372,787	△ 0.0%	372,724	△ 0.0%	372,664	△ 0.0%	372,607	△ 0.0%	372,553	△ 0.0%
4 地方特例交付金	54,937	633.5%	12,384	△ 77.5%	48,386	290.7%	11,346	△ 76.6%	11,346		11,346		11,346		11,346		11,346	
5 地方交付税	3,068,775	1.1%	3,295,890	7.4%	3,836,549	16.4%	3,823,531	△ 0.3%	3,873,716	1.3%	3,786,857	△ 2.2%	3,714,683	△ 1.9%	3,658,742	△ 1.5%	3,608,442	△ 1.4%
普通交付税	2,740,809	3.4%	3,015,898	10.0%	3,463,516	14.8%	3,450,498	△ 0.4%	3,523,716	2.1%	3,456,857	△ 1.9%	3,434,683	△ 0.6%	3,378,742	△ 1.6%	3,328,442	△ 1.5%
特別交付税	327,966	△ 14.8%	279,992	△ 14.6%	373,033	33.2%	373,033		350,000	△ 6.2%	330,000	△ 5.7%	280,000	△ 15.2%	280,000		280,000	
6 分・負担金、寄付金	136,701	△ 37.4%	131,222	△ 4.0%	185,671	41.5%	304,598	64.1%	334,929	10.0%	385,609	15.1%	384,809	△ 0.2%	384,809		384,809	
7 使用料・手数料	244,103	45.5%	119,544	△ 51.0%	125,403	4.9%	127,835	1.9%	127,615	△ 0.2%	127,422	△ 0.2%	128,047	0.5%	127,592	△ 0.4%	127,759	0.1%
8 国・県支出金	1,326,512	△ 12.9%	3,531,726	166.2%	2,057,617	△ 41.7%	1,549,970	△ 24.7%	1,459,611	△ 5.8%	1,424,145	△ 2.4%	1,392,756	△ 2.2%	1,402,113	0.7%	1,417,350	1.1%
経常	690,190	7.4%	729,481	5.7%	727,554	△ 0.3%	745,743	2.5%	764,387	2.5%	783,496	2.5%	803,083	2.5%	823,160	2.5%	843,739	2.5%
臨時	636,322	△ 27.7%	2,802,245	340.4%	1,330,063	△ 52.5%	804,227	△ 39.5%	695,224	△ 13.6%	640,649	△ 7.8%	589,673	△ 8.0%	578,953	△ 1.8%	573,611	△ 0.9%
9 財産収入	191,580	34.9%	112,600	△ 41.2%	97,179	△ 13.7%	95,794	△ 1.4%	94,968	△ 0.9%	94,861	△ 0.1%	94,496	△ 0.4%	94,067	△ 0.5%	93,770	△ 0.3%
10 繰入金	539,210	△ 68.1%	582,170	8.0%	345,919	△ 40.6%	386,933	11.9%	505,052	30.5%	494,918	△ 2.0%	513,088	3.7%	501,434	△ 2.3%	486,239	△ 3.0%
11 繰越金	356,205	46.6%	457,607	28.5%	230,512	△ 49.6%	234,916	1.9%	99,092	△ 57.8%	176,296	77.9%	147,447	△ 16.4%	145,492	△ 1.3%	150,510	3.4%
12 地方債	1,367,279	35.9%	994,374	△ 27.3%	1,037,877	4.4%	852,451	△ 17.9%	728,751	△ 14.5%	528,051	△ 27.5%	281,351	△ 46.7%	217,551	△ 22.7%	217,551	
うち臨時財政対策債	197,875	△ 22.7%	202,774	2.5%	214,877	6.0%	67,551	△ 68.6%	67,551		67,551		67,551		67,551		67,551	
うち合併特例債																		
13 その他	240,988	4.9%	162,906	△ 32.4%	113,869	△ 30.1%	150,887	32.5%	120,887	△ 19.9%	120,887		120,887		120,887		120,887	
歳入合計	9,540,070	△ 6.5%	11,422,177	19.7%	10,113,331	△ 11.5%	9,606,426	△ 5.0%	9,433,836	△ 1.8%	9,196,578	△ 2.5%	8,844,564	△ 3.8%	8,729,242	△ 1.3%	8,652,899	△ 0.9%
うち経常一般財源	4,970,483	5.8%	5,067,608	2.0%	5,563,702	9.8%	5,550,690	△ 0.2%	5,635,877	1.5%	5,537,296	△ 1.7%	5,524,589	△ 0.2%	5,478,107	△ 0.8%	5,396,805	△ 1.5%

4 歳出 (見込) 額調

調査表4

(単位: 千円, %)

区 分	令和1年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度		
	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率
1 人件費	850,848	△ 1.6%	15.2%	1,368,958	60.9%	22.4%	1,405,682	2.7%	21.4%	1,509,899	7.4%	23.6%	1,514,429	0.3%	23.3%	1,518,972	0.3%	23.8%	1,523,529	0.3%	23.9%	1,528,100	0.3%	24.2%	1,532,684	0.3%	24.7%
うち職員給	513,799	△ 4.0%	—	488,652	△ 4.9%	—	758,574	55.2%	—	758,574	—	—	758,574	—	—	758,574	—	—	758,574	—	—	758,574	—	—	758,574	—	—
うち退職手当	72,063	5.5%	—	74,557	3.5%	—	86,330	15.8%	—	86,330	—	—	86,330	—	—	86,330	—	—	86,330	—	—	86,330	—	—	86,330	—	—
2 扶助費	964,789	△ 13.9%	7.4%	805,551	△ 16.5%	4.6%	1,096,216	36.1%	4.6%	933,487	△ 14.8%	5.2%	965,226	3.4%	5.3%	998,044	3.4%	5.6%	1,031,977	3.4%	5.8%	1,067,064	3.4%	6.0%	1,103,344	3.4%	6.3%
3 公債費	784,934	4.1%	15.0%	1,119,204	42.6%	15.8%	1,192,067	6.5%	15.4%	1,200,435	0.7%	16.3%	1,237,887	3.1%	16.6%	1,213,815	△ 1.9%	16.4%	1,194,282	△ 1.6%	16.1%	1,136,007	△ 4.9%	15.3%	1,020,982	△ 10.1%	13.5%
元利償還金	784,606	4.1%	—	1,118,918	42.6%	—	1,191,764	6.5%	—	1,200,132	0.7%	—	1,237,584	3.1%	—	1,213,512	△ 1.9%	—	1,193,979	△ 1.6%	—	1,135,704	△ 4.9%	—	1,020,679	△ 10.1%	—
一時借入金利子	328	△ 18.0%	—	286	△ 12.8%	—	303	5.9%	—	303	—	—	303	—	—	303	—	—	303	—	—	303	—	—	303	—	—
1~3 義務の経費計	2,600,571	△ 5.1%	37.6%	3,293,713	26.7%	42.8%	3,693,965	12.2%	41.4%	3,643,821	△ 1.4%	45.1%	3,717,542	2.0%	45.2%	3,730,831	0.4%	45.8%	3,749,788	0.5%	45.8%	3,731,171	△ 0.5%	45.5%	3,657,010	△ 2.0%	44.4%
4 物件費	1,276,013	△ 0.3%	14.9%	1,154,676	△ 9.5%	10.6%	1,307,847	13.3%	9.9%	1,317,002	0.7%	10.3%	1,326,221	0.7%	10.2%	1,335,505	0.7%	10.5%	1,344,854	0.7%	10.6%	1,354,268	0.7%	10.7%	1,363,748	0.7%	10.9%
5 維持補修費	77,418	△ 7.0%	1.1%	65,278	△ 15.7%	1.0%	70,597	8.1%	0.9%	72,009	2.0%	0.9%	73,449	2.0%	0.9%	74,918	2.0%	1.0%	76,416	2.0%	1.0%	77,944	2.0%	1.0%	79,503	2.0%	1.1%
6 補助費等	1,437,870	△ 13.8%	23.0%	2,987,187	107.8%	20.6%	1,856,670	△ 37.8%	19.7%	1,747,899	△ 5.9%	19.1%	1,741,116	△ 0.4%	18.7%	1,730,862	△ 0.6%	19.0%	1,711,226	△ 1.1%	18.8%	1,695,400	△ 0.9%	18.8%	1,681,826	△ 0.8%	18.9%
4~6 消費の経費計	2,791,301	△ 7.9%	39.1%	4,207,141	50.7%	32.2%	3,235,114	△ 23.1%	30.6%	3,136,910	△ 3.0%	30.3%	3,140,786	0.1%	29.9%	3,141,285	0.0%	30.4%	3,132,496	△ 0.3%	30.3%	3,127,612	△ 0.2%	30.5%	3,125,077	△ 0.1%	30.9%
7 積立金	345,091	10.6%	—	424,778	23.1%	—	535,534	26.1%	—	313,778	△ 41.4%	—	110,529	△ 64.8%	—	167,822	51.8%	—	104,188	△ 37.9%	—	25,967	△ 75.1%	—	25,365	△ 2.3%	—
8 投資出資貸付金	216,710	△ 80.6%	—	266,706	23.1%	—	318,040	19.2%	—	441,429	38.8%	—	311,780	△ 29.4%	—	304,239	△ 2.4%	—	263,215	△ 13.5%	—	252,520	△ 4.1%	—	243,029	△ 3.8%	—
9 繰出金	718,112	1.0%	12.0%	737,210	2.7%	12.0%	739,808	0.4%	11.0%	783,900	6.0%	12.0%	831,000	6.0%	12.5%	881,320	6.1%	13.5%	935,084	6.1%	14.4%	992,533	6.1%	15.4%	1,053,923	6.2%	16.6%
10 普通建設事業費	1,568,726	43.0%	—	1,993,827	27.1%	—	1,131,631	△ 43.2%	—	1,035,619	△ 8.5%	—	858,458	△ 17.1%	—	579,464	△ 32.5%	—	273,064	△ 52.9%	—	200,164	△ 26.7%	—	200,164	—	—
補助	478,254	20.3%	—	1,031,751	115.7%	—	492,612	△ 52.3%	—	569,850	15.7%	—	347,434	△ 39.0%	—	168,064	△ 51.6%	—	45,664	△ 72.8%	—	34,664	△ 24.1%	—	34,664	—	—
単独	1,090,472	55.8%	—	962,076	△ 11.8%	—	639,019	△ 33.6%	—	465,769	△ 27.1%	—	511,024	9.7%	—	411,400	△ 19.5%	—	227,400	△ 44.7%	—	165,500	△ 27.2%	—	165,500	—	—
11 災害復旧事業費	398,589	△ 24.6%	—	97,290	△ 75.6%	—	15,323	△ 84.3%	—	3,240	△ 78.9%	—	23,000	609.9%	—	23,000	—	—	23,000	—	—	23,000	—	—	23,000	—	—
補助	251,387	△ 18.3%	—	89,333	△ 64.5%	—	6,454	△ 92.8%	—	—	△ 100.0%	—	15,000	—	—	15,000	—	—	15,000	—	—	15,000	—	—	15,000	—	—
単独	147,202	△ 33.4%	—	7,957	△ 94.6%	—	8,869	11.5%	—	3,240	△ 63.5%	—	8,000	146.9%	—	8,000	—	—	8,000	—	—	8,000	—	—	8,000	—	—
10~11 投資の経費計	1,967,315	21.0%	—	2,091,117	6.3%	—	1,146,954	△ 45.2%	—	1,038,859	△ 9.4%	—	881,458	△ 15.2%	—	602,464	△ 31.7%	—	296,064	△ 50.9%	—	223,164	△ 24.6%	—	223,164	—	—
歳出合計	8,639,100	△ 9.4%	88.7%	11,020,665	27.6%	87.0%	9,669,415	△ 12.3%	82.9%	9,358,697	△ 3.2%	87.4%	8,993,095	△ 3.9%	87.6%	8,827,961	△ 1.8%	89.7%	8,480,835	△ 3.9%	90.5%	8,352,967	△ 1.5%	91.4%	8,327,568	△ 0.3%	91.9%
うち経常経費 充当一般財源	4,582,660	△ 6.5%	—	4,584,311	0.0%	—	4,792,598	4.5%	—	4,909,540	2.4%	—	4,997,169	1.8%	—	5,029,344	0.6%	—	5,063,629	0.7%	—	5,067,229	0.1%	—	5,022,109	△ 0.9%	—

5 実質公債費比率(見込)調

調査表5

(単位:千円,%)

区 分	令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	
普通交付税	2,740,809	3.4%	3,015,898	10.0%	3,463,516	14.8%	3,450,498	△ 0.4%	3,523,716	2.1%	3,456,857	△ 1.9%	3,434,683	△ 0.6%	3,378,742	△ 1.6%	3,328,442	△ 1.5%	
標準税収入額	1,516,752	1.4%	1,570,107	3.5%	1,476,281	△ 6.0%	1,554,806	5.3%	1,541,280	△ 0.9%	1,653,422	7.3%	1,661,111	0.5%	1,667,632	0.4%	1,639,387	△ 1.7%	
地方譲与税等	421,124	1.0%	497,445	18.1%	495,013	△ 0.5%	511,411	3.3%	469,331	△ 8.2%	448,057	△ 4.5%	447,997	△ 0.0%	447,940	△ 0.0%	447,886	△ 0.0%	
臨時財政対策債 発 行 可 能 額 B	197,779	△ 22.7%	202,774	2.5%	249,877	23.2%	67,551	△ 73.0%	67,551		67,551		67,551		67,551		67,551		
計(標準財政規模) A	4,876,464	1.2%	5,286,224	8.4%	5,684,687	7.5%	5,584,266	△ 1.8%	5,601,878	0.3%	5,625,887	0.4%	5,611,342	△ 0.3%	5,561,865	△ 0.9%	5,483,266	△ 1.4%	
元利償還金 C	784,934	4.1%	1,119,204	42.6%	1,192,067	6.5%	1,200,435	0.7%	1,237,887	3.1%	1,213,815	△ 1.9%	1,194,282	△ 1.6%	1,136,007	△ 4.9%	1,020,982	△ 10.1%	
繰上償還額 D			281,700		294,423	4.5%	280,000	△ 4.9%	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		
準元利償還金 E (①+②+③+④+⑤)	603,773	4.8%	620,122	2.7%	683,646	10.2%	670,821	△ 1.9%	674,861	0.6%	657,416	△ 2.6%	584,896	△ 11.0%	565,585	△ 3.3%	530,520	△ 6.2%	
内 訳	満期一括償還地方債 に係る年度割相当額 ①																		
	公営企業債元利償還金 財源充当繰出金 ②	594,222	4.8%	611,025	2.8%	674,540	10.4%	661,203	△ 2.0%	665,302	0.6%	647,915	△ 2.6%	575,452	△ 11.2%	556,197	△ 3.3%	521,187	△ 6.3%
	組合等の起債の元利償還金に充当した 負担金等 ③	5,431	6.1%	5,487	1.0%	5,768	5.1%	6,340	9.9%	6,340		6,340		6,340		6,340		6,340	
	公債費に準ずる債務負担行為に基づく 支出額 ④	3,792	7.7%	3,324	△ 12.3%	3,036	△ 8.7%	2,975	△ 2.0%	2,916	△ 2.0%	2,858	△ 2.0%	2,801	△ 2.0%	2,745	△ 2.0%	2,690	△ 2.0%
	一時借入金利息 ⑤	328	△ 18.0%	286	△ 12.8%	302	5.6%	303	0.3%	303		303		303		303		303	
元利償還金 F	7,395	△ 4.9%	7,031	△ 4.9%	7,031		7,142	1.6%	12,200	70.8%	12,207	0.1%	12,214	0.1%	10,114	△ 17.2%	10,114		
準元利償還金 G																			
基準財政需要額算入額 H (ア+イ+ウ+エ+オ)	1,019,244	4.1%	1,078,244	5.8%	1,153,023	6.9%	1,198,301	3.9%	1,237,516	3.3%	1,229,565	△ 0.6%	1,215,011	△ 1.2%	1,166,514	△ 4.0%	1,093,401	△ 6.3%	
内 訳	公債費分 ア	312,012	2.0%	311,598	△ 0.1%	308,406	△ 1.0%	302,719	△ 1.8%	295,280	△ 2.5%	289,355	△ 2.0%	278,530	△ 3.7%	264,543	△ 5.0%	248,684	△ 6.0%
	事業費補正分 イ	30,921	△ 23.6%	23,119	△ 25.2%	28,893	25.0%	32,740	13.3%	25,729	△ 21.4%	23,198	△ 9.8%	22,892	△ 1.3%	22,524	△ 1.6%	22,499	△ 0.1%
	密度補正分 ウ	49,976	△ 9.6%	47,764	△ 4.4%	44,100	△ 7.7%	44,100		40,544	△ 8.1%	40,902	0.9%	41,322	1.0%	41,511	0.5%	41,849	0.8%
	災害復旧等に係る分 エ	580,720	9.1%	650,148	12.0%	726,009	11.7%	773,127	6.5%	830,348	7.4%	830,495	0.0%	826,652	△ 0.5%	792,321	△ 4.2%	734,754	△ 7.3%
	災害復旧等に係る分(準元 利償還金分) オ	45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615	
(C-D+E)-(F+G+H) I	362,068	5.5%	372,351	2.8%	421,236	13.1%	385,813	△ 8.4%	383,032	△ 0.7%	349,459	△ 8.8%	271,953	△ 22.2%	244,964	△ 9.9%	167,987	△ 31.4%	
A-H J	3,857,220	0.5%	4,207,980	9.1%	4,531,664	7.7%	4,385,965	△ 3.2%	4,364,362	△ 0.5%	4,396,322	0.7%	4,396,331	0.0%	4,395,351	△ 0.0%	4,389,865	△ 0.1%	
実質公債費比率(単年) I/J K	9.3	4.5%	8.8	△ 5.4%	9.3	5.7%	8.7	△ 6.5%	8.7		7.9	△ 9.2%	6.1	△ 22.8%	5.5	△ 9.8%	3.8	△ 30.9%	
Kの3ヶ年平均	8.9	0.0	9.0	0.0	9.1	0.0	8.9	△ 0.0	8.9		8.5	△ 0.0	7.6	△ 0.1	6.5	△ 0.1	5.1	△ 0.2	

6 将来負担比率(見込)調

調査表6

(単位:千円,%)

区 分		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地方債の現在高(一般会計等)	a	11,101,034	10,194,077	10,047,533	9,444,594	8,883,799	8,145,545	7,179,366	6,286,585	5,424,663
債務負担行為に基づく支出予定額	b	212,382	421,548	328,830	286,534	218,346	151,145	111,624	63,317	51,218
公営企業債等繰入見込額	c	7,610,029	6,626,975	6,405,566	5,957,053	5,425,972	4,904,835	4,482,912	4,031,342	3,595,431
一部事務組合等負担等見込額	d	58,809	55,699	51,737	47,258	43,201	39,525	36,192	33,168	30,422
退職手当負担見込額	e	763,562	680,156	606,638	618,771	631,146	643,769	656,644	669,777	683,173
設立法人の負債額等負担見込額	f	0	0	67,399	0	0	0	0	0	0
土地開発公社	g	0	0	67,399	0	0	0	0	0	0
第三セクター等	h	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連結実質赤字額	i	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組合等連結実質赤字額負担見込額	j	0	0	0	0	0	0	0	0	0
充当可能基金	k	8,419,251	8,602,686	8,975,110	8,537,666	8,407,143	8,301,047	8,110,147	7,860,680	7,594,806
充当可能特定歳入	l	47,333	148,233	141,911	134,769	122,569	110,362	98,148	88,034	82,833
都市計画税	m	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基準財政需要額算入見込額	n	12,462,466	12,071,665	11,583,169	11,594,752	11,606,347	11,617,953	11,629,571	11,641,201	11,652,842
将来負担額 A	o	19,745,816	17,978,455	17,507,703	16,354,210	15,202,464	13,884,819	12,466,738	11,084,189	9,784,907
充当可能財源等 B	p	20,929,050	20,822,584	20,700,190	20,267,187	20,136,059	20,029,362	19,837,866	19,589,915	19,330,481
標準財政規模 C	q	4,876,464	5,286,224	5,684,687	5,584,266	5,601,878	5,625,887	5,611,342	5,561,865	5,483,266
算入公債費等の額 D	r	1,019,244	1,078,244	1,153,023	1,198,301	1,237,516	1,229,565	1,215,011	1,166,514	1,093,401
将来負担比率 {(o-p)/(q-r)}×100		▲ 30.6	▲ 67.5	▲ 70.4	▲ 89.2	▲ 113.0	▲ 139.7	▲ 167.6	▲ 193.5	▲ 217.4